



図 1 当所設備を利用した
廃陶器の粉碎作業



図 2 試験見本



図 3 展示会（笠間工芸の丘）



図 4 展示会（池袋東武）

【開発の背景】

小規模製陶産地である笠間や益子において、リサイクルやエコといった社会的課題に取り組むグループ 12 社に対し、リサイクル粘土研究会を開催して、当所設備を利用した廃陶器の粉碎・混練技術や強度・吸水試験の支援を行いました。

【開発の経緯・支援内容】

当所は、安全な製品化と販売のために、次を行いました。

1) 【研究会の具体的な内容】

- ・廃陶器の粉碎作業，機器運転のオペレーション（図 1）
- ・粘土配合，試験についての勉強会

2) 【当所が提供した技術】

- ・試験機による粒度調整の方法
- ・試験体の成形方法
- ・試験後の粘土改良のノウハウ提供
- ・強度，吸水性の比較データ提供（図 2）
- ・リサイクル粘土に合わせた釉薬データ提供

以上の結果として、従来の粘土に 5～20%の再生粉（粉碎した廃陶器の粉）を配合して、市販粘土と同等の強度であるリサイクル粘土が精製できました。

3) 【展示出展支援】

販売店との打合せ会議に参加し、展示運営等の助言をしました。本研究会で配合したリサイクル粘土は、茨城県および栃木県の製陶企業 61 社に利用され、研究会員が企画した展示会に出展されました。

【開発した製品の紹介】

- 1) 展示会（図 3，4）は「LOVEBOWL2011」の名称で、笠間と益子の陶芸家を中心になって行ったチャリティー企画で、途上国の学校給食や、3.11 東日本大震災で被災した子どもたちへの支援などに役立てるというコンセプトが社会貢献活動として評価されています。
- 2) 6/22～7/24 に横浜高島屋・池袋東武百貨店・笠間工芸の丘の 3 カ所で販売され好評を得ました。バイヤーが興味を示し、巡回展に催すなど、小規模製陶産地としての販路を見出すことができました。

記事掲載：6/24（産経新聞，常陽新聞）

7/7（読売タウンニュース） 等